

事業番号	事務事業名	地域自立生活支援事業費	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
24192	政策名	1 ころろあたたかい福祉の里づくり	係名	介護保険係	担当者・シート作成者	國岡 悠香
	施策名	14 高齢者福祉の推進	根拠法令等	介護保険法(平成9年法律第123号) 鏡野町高齢者等給食サービス事業実施要綱(平成17年鏡野町告示第28号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	栄養改善の必要な高齢者に対し配食サービスを行うことで地域の高齢者の状況を定期的に把握し、高齢者の住み慣れた地域での自立した生活を継続できるよう支援を行う。	平成18年度の法改正により地域支援事業として開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 65歳以上の町民	ア 65歳以上の町民人口	人	見込	4,727	4,689	4,651	4,613	4,670
			実績	4,747	4,757	4,726		
イ	イ		見込					
			実績					
ウ	ウ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 栄養改善を図る	ア 栄養改善した人数	人	目標	70	70	90	110	110
			実績	99	95	100		
			達成率	141.4%	135.7%	111.1%		90.9%
イ	イ 配食数	食	目標	8,000	8,000	9,000	9,000	10,000
			実績	11,240	10,605	12,935		
			達成率	140.5%	132.6%	143.7%		129.4%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 申請受付、決定事務	ア 受付・決定件数	件	目標	21	21	50	50	50
			実績	18	51	46		
			達成率	85.7%	242.9%	92.0%		92.0%
イ 委託料の支払い	イ 支払回数	回	目標	60	60	60	60	60
			実績	50	49	48		
			達成率	83.3%	81.7%	80.0%		80.0%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 24 款 05 項 02 目 05 大事業 中事業			05 01 地域自立生活支援事業費					事業番号				
	介護保険特別会計(保険事業勘定) 地域支援事業費			包括的支援事業・任意事業費		任意事業費		地域自立生活支援事業費					
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	
国庫支出金	2,048	1,564	1,432	809	809	-132	国庫支出金	1,281	1,242	958	809	809	-284
県支出金	894	683	625	404	404	-58	県支出金	559	542	418	404	404	-124
町債	0	0	0	0	0		町債	0	0	0	0	0	
その他特財	3,314	2,531	1,975	404	404	-556	その他特財	2,072	2,010	1,321	404	404	-689
一般財源	894	683	968	483	483	285	一般財源	559	542	647	483	483	105
合計	7,150	5,460	5,000	2,100	2,100	-460	合計(A)	4,470	4,337	3,345	2,100	2,100	-992
財源名称	国・県・地域支援事業交付金(包括的支援事業任意事業)					従事正職員人数	1	1	1	1	1		
	地域支援事業繰入金(包括的支援事業・任意事業)					延べ業務事務時間	12	12	12	12	12		
	地域支援事業利用料					人件費計(千円)(B)	42	40	40	41	41	0	
	最終予算額		5,000 千円	予算執行率		66.9%	トータルコスト(A+B)	4,512	4,377	3,385	2,141	2,141	-991
主な支出事業内容(予算)	委託料(物)					5,000 千円	主な支出事業内容(決算)	委託料(物)					3,345 千円

事業番号	24192	事務事業名	地域自立生活支援事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
高齢者独居や老々世帯の増加等により利用者は増加傾向にある。地域によって配達事業所が少なく新規事業所開拓が求められる。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
配食サービスだけでなく安否確認等も行うようにし、また、介護保険料滞納者も条件付きで利用できるよう改善した。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
助かっているという意見もある一方、曜日により使う事業所を変えたい等のご意見や、現在昼食を中心に配食をしているが夕食を希望するニーズのほうが多い。

5. 事業評価

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明	栄養の改善を求める高齢者に対し、配食支援を活用することで高齢者の見守りを行い、異変があれば即座に対応できる体制を構築しており、高齢者の福祉の推進に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せられないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明	介護保険法に規定されている地域支援事業の任意事業であり、町が保険者として高齢者福祉の推進のために実施するものである。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明	介護保険法に規定されている地域支援事業であり、対象と意図を見直す余地はなく、妥当である。	
有効性評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明	昼食よりも夕食のニーズが多いが、夕食の配食をする事業者が少ない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明	対象が高齢者のため筋力低下や病気等により食事の準備が困難な利用者が多く、廃止した場合栄養状態の悪化が見込まれる。また、定期的な安否確認の機会が減少し、緊急時の対応が遅れることが想定される。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明	事業所が少ないため、利用を希望してもニーズに合致しない場合がある。また、地域によっては配達困難となる場合がある。	
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	事業費は最小限のものであり削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	最小限の人件費にて実施しており、削減余地はない。	
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明	利用者には地域支援事業利用料(給食代金より1食あたり250円を差し引いた金額)の負担をお願いしているので、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	栄養改善を必要とする利用者へ適切に配食を行っており、また、安否確認についても令和3年度中において、配達時に応答がなかった利用者についての事業所からの情報提供により自宅内での異変に早期に気づき入院につなげた事案もあったことより、適切に運用できていると考えられる。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 利用者のニーズに合わせるため、曜日によって事業者を選択できるようにすることや、夕食のニーズが高いため、対応できる事業所を新規開拓することで改善につながると考えられるが、それに伴い事務量が增加することが予想される。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								